

注3

大学番号：130

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人片柳学園

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 ジョウ カンノ マチオ
次長 菅野真智男

電話番号 03-6424-2111

（夜間） 03-3732-1110

F A X 03-6424-2112

e-mail jm-kmgyomu@stf.teu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療保健学部

<臨床検査学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号
(〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404番地1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(かたやなぎ こう) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(かるべ いさお) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
学部長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)	(うめだ まさる) 梅田 勝 (平成27年4月)	●●●●が任期満了により退職のため、平成27年度から変更(27)
学科長等	(ほそがや しげみ) 細萱 茂実 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 臨床検査学科 学士(臨床検査学)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	80人 (-) [-]	—人 (-) [-]	80人 (-) [-]	—人 (-) [-]	80人 (-) [-]	—人 (-) [-]	80人 (-) [-]	—人 (-) [-]	1.02倍	
志願者数	() []	() []	1,385 (-) [-]	— (-) [-]	815 (-) [-]	— (-) [-]	816 (-) [-]	— (-) [-]	816 (-) [-]	— (-) [-]		
受験者数	() []	() []	1,354 (-) [-]	— (-) [-]	798 (-) [-]	— (-) [-]	791 (-) [-]	— (-) [-]	791 (-) [-]	— (-) [-]		
合格者数	() []	() []	228 (-) [-]	— (-) [-]	253 (-) [-]	— (-) [-]	299 (-) [-]	— (-) [-]	299 (-) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	84 (-) [-]	— (-) [-]	79 (-) [-]	— (-) [-]	84 (-) [-]	— (-) [-]	84 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.05		0.98		1.05					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 84	[-] (-) -	[-] (-) 79	[-] (-) -	[-] (-) 84	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 84	[-] (-) -	[-] (-) 79	[-] (-) -	
3年次			/		/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 84
4年次	/						/		/
計			[-] (-) -	[-] (-) 84	[-] (-) 163	[-] (-) 247			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	0人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	0人	0人		
			平成28年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	84人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	0人	0人		
			平成28年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	79人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
			平成28年度	0人	0人		
平成28年度 入学者	84人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
合計	247人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療保健学部 臨床検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
基礎教育科目	哲学	1前		2								兼	1		
	芸術論	1前		2								兼	1		
	科学論	1後		2								兼	1		
	心理学	1後		2								兼	1		
	倫理学	2後		2								兼	1		
	宗教学	2前		2								兼	1		
	政治学	1前		2								兼	1		
	経済学	1前		2								兼	1		
	法学	1後		2								兼	1		
	コミュニケーション論	2前		2								兼	1		
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2								兼	3		
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2								兼	3		
	心身ウエルネス	栄養と健康	1前		2								兼	1	
		スポーツ・コンディショニング	1後		2								兼	1	
		集中実技Ⅰ	1前		1								兼	1	
		集中実技Ⅱ	1後		1								兼	1	
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習Ⅰ	1前	1									兼	1	
		コンピュータリテラシー演習Ⅱ	1後	1									兼	1	
		コンピュータ概論Ⅰ	1前	2									兼	1	
		コンピュータ概論Ⅱ	1後	2									兼	1	
		応用コンピュータⅠ	2前		2								兼	1	
		応用コンピュータⅡ	2後		2								兼	1	
		応用コンピュータ演習Ⅰ	2前		1								兼	1	
		応用コンピュータ演習Ⅱ	2後		1								兼	1	
	人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			5	2	3	6	0				
	自然科学	医療科学の基礎Ⅰ	1前	2			1				1				
		医療科学の基礎Ⅱ	1後		2							兼	3	4	
		生物の基礎	1前	2			1								
		化学の基礎	1後	2			1								
		物理の基礎	1後		2							兼	1		
		数学の基礎	1前		2							兼	1		
		統計学	2前		2							兼	1		
小計 (32科目)			—	18	40	0	5	2	3	6	0	兼	20	24	
専門基礎科目	解剖学	1前		2								兼	1	-2	
	解剖学実習	1後		1								兼	1	-2	
	生理学	1前		2								兼	1		
	生理学実習	2前		1								兼	1		
	生化学	1後		2		1									
	生化学実習	2前		1				1	1						
	臨床検査概論	1前		1			1								
	病理学	1後		2				1							
	臨床微生物・免疫学	1前		2			2					兼	1		
	血液学	2前		2			1								
	公衆衛生学	2後		2								兼	1		
	公衆衛生学実習	3前		1								兼	1		
	医学概論	1前		2								兼	1		
	医療リスクマネジメント	4後		2								兼	1		
	保健医療福祉総論	4前		2								兼	1		
	医用工学概論	2後		2								兼	1		
	医用工学実習	2後		1								兼	1		
小計 (17科目)			—	28	0	0	3	4	1	1	1	0	兼	8	7

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	臨床医学総論	2後	2			1								
	臨床病理学	3前	2								兼	1		
	病態解析学	3後	2								兼	1		
	病理検査学	2前	2				1							
	病理検査学実習Ⅰ	2後	1				1		1					
	病理検査学実習Ⅱ	3前	1				1		1					
	血液検査学	2前	2			1								
	血液検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1	1					
	血液検査学実習Ⅱ	3前	1			1		1	1					
	医動物学（含む実習）	2前	2								兼	3	1	
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			1								
	臨床化学検査学Ⅱ	3前	2			1								
	臨床化学検査学Ⅲ（含む実習）	3前	2				1		1				臨床検査技師国家試験受験資格 の指定科目の改正に伴う変更 (28)	
	臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1			1					
	臨床化学検査学実習Ⅱ	3前	1				1		1					
	一般検査学	1後	2				1							
	一般検査学実習	2前	1				1		1					
	微生物検査学	1後	2			1								
	微生物検査学実習Ⅰ	2前	1			1			1					
	微生物検査学実習Ⅱ	3前	2			1			1					
	免疫検査学	2前	2					1						
	免疫検査学実習	3前	2					1	1					
	遺伝子検査学	2後	1					1						
	遺伝子検査学実習	2後	1					1	1					
	生理検査学Ⅰ	2前	2					1						
	生理検査学Ⅱ	2後	1					1						
	生理検査学実習Ⅰ	2後	1					1	1					
	生理検査学実習Ⅱ	3前	2					1	1					
	画像検査学	2前	2					1						
	画像検査学実習	2後	1					1	1					
	検査管理総論	3前	2			1								
	臨床検査総合演習	3後	2					1	1					
	医療情報処理演習Ⅰ	2後	1			1								
	医療情報処理演習Ⅱ	3後	1			1								
	検査機器総論（含む実習）	1後	1					1	1					
	チーム医療概論	3後		2		1								
	救急総論	3前		2							兼	3		
	健康食品総論	3後		2			1							
	栄養化学	4前		2			1							
	薬理学	2後		2			1							
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	2	3						
	卒業研究Ⅱ	4後	2			5	2	3						
	臨地実習	3後	10			2	2	2	6					
小計（43科目）	—	—	68	10	0	5	2	3	6	0	兼	7	5	
合計（92科目）	—	—	114	50	0	5	2	3	6	0	兼	34	35	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 27	科目 0	科目 92	科目 65 [0]	科目 27 [0]	科目 0 [0]	科目 92 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計	92		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田 日本工学院専門学校との共 用： 収容定員5,180人 基準面積 なし 共用の合計 20,657.52㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子 日本工学院八王子専門学校と の共用： 収容定員5,440人 基準面積 なし 【区分：共用する他の学校等 の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門学校
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,600.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 344,942.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 371,892.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 344,942.51㎡	
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡	
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,758.03㎡ ① 20,657.52㎡ ② 381,100.51㎡	計 6,292.01㎡ ① 6,292.01㎡ ② 0㎡	計 408,050.04㎡ ① 26,949.53㎡ ② 381,100.51㎡	
	(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ②109,874.350㎡ 計 140,622.010㎡ ① 30,747.660㎡ ②109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡ 計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡ 計 96,909.260㎡ ① 47,916.320㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ②190,557.950㎡ 計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ②190,557.950㎡		
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	14 室	1 室	62 室	6 室 (補助職員 0 人)	6 室 (補助職員 0 人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	医療保健学部 臨床検査学科			12 室		

区 分		内 容						備 考	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	標本については 既存学科保有の 標本100点を 共用する。	
	医療保健学部 臨床検査学科	2,912 [272] (2,433 [256])	15 [3] (15 [3])	4 [1] (4 [1])	160 (123)	690 (690)	0 (0)		
	計	2,912 [272] (2,433 [256])	15 [3] (15 [3])	4 [1] (4 [1])	160 (123)	690 (690)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,578㎡		220席		63,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	10,645㎡		テニスコート（5面）、50m公認プール						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整 備費（運用コスト含む）を 含む
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	15,000千円	3,300千円	3,300千円	
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	132,000千円	240,000千円	—千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,900千円	第2年次 1,590千円	第3年次 1,626千円	第4年次 1,662千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等をもって支弁する。						

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (バイオニクス) 又は博士(工学)	1.50	平成17年度	東京都八王子市片倉町1404番地1号	
コンピュータサイエンス専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (コンピュータサイエンス) 又は博士(工学)	0.50	平成17年度	同上	
メディアサイエンス専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (メディアサイエンス) 又は博士(工学)	1.00	平成17年度	同上	
バイオニクス専攻 修士課程	2	40	—	80	修士 (バイオニクス) 又は修士(工学)	0.98	平成17年度	同上	
コンピュータサイエンス専攻 修士課程	2	40	—	80	修士 (コンピュータサイエンス) 又は修士(工学)	0.93	平成17年度	同上	
メディアサイエンス専攻 修士課程	2	40	—	80	修士 (メディアサイエンス) 又は修士(工学)	0.43	平成17年度	同上	
アントレプレナー専攻 修士課程	2	20	—	40	修士 (アントレプレナー)	0.62	平成17年度	同上	
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 15人 3年次 9人	1,023	学士 (バイオニクス)	1.12	平成15年度	同上	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称変を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科	4	300	2年次 18人 3年次 12人	1,278	学士(コンピュータサイエンス)	1.14	平成15年度	同上	平成27年度より入学定員減 480→300名 (180名減)
メディア学部 メディア学科	4	300	2年次 17人 3年次 12人	1,275	学士(メディア学)	1.18	平成11年度	同上	平成27年度より入学定員減 400→300名 (100名減)

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
工学部									
機械工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.05	平成27年度	東京都八王子市 片倉町1404番地 1号	
電気電子工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.21	平成27年度	同上	
応用化学科	4	80	2年次 3人	329	学士 (工学)	1.09	平成27年度	同上	
医療保健学部									
看護学科	4	120	—	480	学士 (看護学)	1.02	平成22年度	東京都大田区 西蒲田5丁目23 番22号	平成26年度より 入学定員増 80名→120名 (40名増)
臨床工学科	4	80	—	320	学士 (臨床工学)	1.08	平成22年度	同上	
理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.05	平成22年度	同上	
作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	1.05	平成22年度	同上	
臨床検査学科	4	80	—	320	学士 (臨床検査学)	1.02	平成26年度	同上	
デザイン学部									
デザイン学科	4	200	—	800	学士 (デザイン)	1.09	平成22年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健学部 臨床検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	ホカヤ シゲミ 細萱 茂実	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 臨床検査概論 検査管理総論 医療情報処理演習Ⅰ 医療情報処理演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	教授	ゴトウ マサ 後藤 正男	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 化学の基礎 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 血液学 臨床医学総論 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 血液学 臨床医学総論 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	平成27年4月から就任する予定であったが、平成26年4月から本学専任教授に就任したため。 (26)
					専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	矢野和義教授の本務が応用生物学部になったため、担当科目を追加 (27)
専	教授	カガキ ミツロ 岡崎 充宏	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ チーム医療概論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	教授	カガキ ミツロ 岡崎 充宏	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	矢野和義教授の本務が応用生物学部になったため、担当科目を追加 (27)
専	教授	ササキ サトシ 佐々木 聡	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 生物の基礎 生化学 臨床化学検査学Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ヨシダ ショウコ 吉田 祥子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 病理学 病理検査学 病理検査学実習Ⅰ 病理検査学実習Ⅱ 栄養学 薬理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	准教授	クハラ ユリコ 栗原 由利子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 臨床化学検査学Ⅲ(含む実習) 臨床化学検査学実習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 健康食品総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	准教授	クハラ ユリコ 栗原 由利子	平成28年4月	臨床化学検査学Ⅲ	臨床検査技師国家試験受験資格の指定科目の改正に伴い、臨床化学検査学Ⅲ(含む実習)の科目内容から実習を削除したため、科目名を臨床化学検査学Ⅲに変更(28)
専	講師	イノエ ミノリ 榎本 みのり	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習Ⅰ 生理検査学実習Ⅱ 画像検査学 画像検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	講師	ヒロ マサ 廣田 雅子 (旧姓 川戸洞) (加トボウ)	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総合演習 検査機器総論(含む実習) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	講師	ミカ アカ 三上 あかね	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 生化学実習 免疫検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	オハシ ユキ 奥橋 佑基	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 検査機器総論(含む実習) 臨地実習						
専	助教	イトウ サカ 伊藤 さやか	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 免疫検査学実習 遺伝子検査学実習 臨地実習						
専	助教	ムラカミ ヤ 村田 和也	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 病理検査学実習Ⅰ 病理検査学実習Ⅱ 一般検査学実習 臨床検査総合演習 臨地実習			後任未定			平成25年7月 ●●●●助教一身上の都合により就任辞退。 (平成27年度就任予定のため支障はない。平成27年4月までに補充予定。 (26)
					専	助教	イカワ ユリ 市川 由理	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 病理検査学実習Ⅰ 病理検査学実習Ⅱ 一般検査学実習 臨床検査総合演習 臨地実習	●●●●助教の後任として平成27年4月市川由理を採用(27)
専	助教	カメダ タカヒロ 亀田 貴寛	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 生化学実習 臨床化学検査学Ⅲ(含む実習) 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 臨地実習	専	助教	カメダ タカヒロ 亀田 貴寛	平成28年4月	臨床化学検査学Ⅲ	臨床検査技師国家試験受験資格の指定科目の改正に伴い、臨床化学検査学Ⅲ(含む実習)の科目内容から実習を削除したため、科目名を臨床化学検査学Ⅲに変更(28)
専	助教	ハナノ ミ 花尾 麻美	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学実習Ⅰ 生理検査学実習Ⅱ 画像検査学実習 臨地実習	専	助教	キシ コスエ 岸井 こずゑ	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ	平成25年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者の変更(26)
							後任未定		生理検査学実習Ⅰ 生理検査学実習Ⅱ 画像検査学実習 臨地実習	平成25年8月 ●●●●助教一身上の都合により就任辞退。 (平成27年度以降の開講科目のため支障はない。平成27年4月までに補充予定。 (26)
					専	助教	ハナノ ミ 花尾 麻美	平成27年4月	生理検査学実習Ⅰ 生理検査学実習Ⅱ 画像検査学実習 臨地実習	就任辞退した●●●●助教が、平成27年4月に就任可能となったため(27)
専	助教	イシイ カ 石井 佳菜	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 臨地実習	専	助教	ハナノ ミ 花尾 麻美	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ	就任辞退した●●●●助教が、平成27年4月に就任可能となったため(27)
					専	助教	キシ コスエ 岸井 こずゑ	平成26年4月	微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 臨地実習	平成25年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者の変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ヤギノ ノブオ 柳澤 信夫	平成26年4月	医学概論	兼任	教授	ウメダ マサル 梅田 勝	平成27年4月	医学概論	平成27年3月 ●●●●教授が任期満了による退職のため、担当者の変更(27)
兼任	教授	タカノ ヤス 高野 康雄	平成26年4月	解剖学 解剖学実習 臨床病理学 病態解析学	兼任	教授	アベ タツヒコ 阿部 達彦	平成27年4月	解剖学 解剖学実習	平成26年9月 阿部達彦教授が着任したため、科目の一部を担当(27)
					兼任	教授	アベ タツヒコ 阿部 達彦	平成28年4月	解剖学 解剖学実習	平成28年3月 ●●●●教授が、一身上の都合により退職のため、担当者の変更(28)
					兼任	教授	モリサキ カズキ 森崎 隆幸	平成28年4月	臨床病理学 病態解析学	平成28年3月 ●●●●教授が、一身上の都合により退職のため、担当者の変更(28)
兼任	教授	クドウ マサヒコ 工藤 昌宏	平成26年4月	経済学						
兼任	教授	オノ マサヒコ 奥 正廣	平成26年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クロカワ シュウイチ 黒川 修一	平成26年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成26年4月	コンピュータリテラシー 演習Ⅰ コンピュータリテラシー 演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ	兼任	講師	オオバ マサト 大場 真人	平成28年4月	コンピュータリテラシー 演習Ⅰ	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(28)
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成26年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ	兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	集中実技Ⅰ	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当科目を追加(27)
					兼任	講師	サトウ ヒロツグ 佐藤 宏継	平成28年9月	スポーツ・コンディショニング	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(28)
兼任	教授	タカノ スミ 田中 寿美 (旧姓 勝浦) (カウラ)	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成26年4月	臨床微生物・免疫学	専	教授	ヨコヤマ ヤスコ 横田 恭子	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	矢野和義教授の本務が応用生物学部になったため、担当者の変更(27)
					専	教授	オガサキ ミツヒロ 岡崎 充宏	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	矢野和義教授の本務が応用生物学部になったため、担当者の変更(27)
兼任	准教授	イガラシ 千代 五十嵐 千代	平成27年9月	公衆衛生学 公衆衛生学実習	兼任	教授	ウメダ マサル 梅田 勝	平成27年9月	公衆衛生学 公衆衛生学実習	平成25年10月 梅田勝教授が着任したため、担当者の変更。(26)
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成26年4月	政治学						
兼任	准教授	ミヤジ ヒロカ 宮地 寛登	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ						
兼任	准教授	ムラカミ ヤスジ 村上 康二郎	平成26年9月	法学						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ	兼任	講師	シロカワ タカシ 白川 貴志	平成28年9月	医療科学の基礎Ⅱ	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(28)
					兼任	講師	トマル アキコ 都丸 亜希子	平成28年9月	医療科学の基礎Ⅱ	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	シズミ 志水 美文 (旧姓 下村) (シモムラ)	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ						
兼任	講師	アハセ ヒサカ 安部 久貴	平成26年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	ミズタニ アキコ 水谷 晃子	平成27年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当者の変更(27)
					兼任	講師	モリタ ヒロコ 森崎 裕子	平成28年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(28)
					兼任	教授	サカモト ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	集中実技Ⅰ	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当者の変更(27)
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤	平成26年4月	生理学 生理学実習	兼任	教授	トシマ ジュンコ 十島 純子	平成28年4月	生理学 生理学実習	平成28年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(28)
兼任	講師	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄	平成26年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学	兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 真也	平成26年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学	平成26年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(26)
					兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 真也	平成27年4月	数学の基礎 統計学	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(27)
					兼任	講師	カノウ イツヤ 加用 一者	平成27年9月	物理の基礎	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(27)
					兼任	講師	タナベ マコト 田邊 誠	平成28年9月	物理の基礎	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(28)
兼任	講師	ハシノ サトシ 橋野 賢	平成27年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	講師	タケダ スオ 武田 朴	平成27年9月	医用工学概論 医用工学実習						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成26年4月	哲学						
兼任	講師	ミヅウ ヒカリ 水沢 光	平成26年9月	科学論						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成27年9月	倫理学						
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成27年4月	宗教学	兼任	講師	ムスリム イーリヤ ムスリン イーリヤ	平成27年4月	宗教学	平成26年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(26)
					兼任	講師	マルヤマ タカ 丸山 空大	平成28年4月	宗教学	平成28年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(28)
兼任	講師	ヨコタ ヒロミツ 横田 浩充	平成29年9月	医療リスクマネジメント						
兼任	講師	タカガキ クニオ 高加 国夫	平成29年4月	保健医療福祉総論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	オホノ 太田 伸生	平成27年4月	医動物学(含む実習)						平成26年4月 ●●●●兼任講師、●●●●兼任講師、●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(28)
兼任	講師	アカノ 赤尾 信明	平成27年4月	医動物学(含む実習)	兼任	講師	アキ ジュン 荒木 潤	平成28年4月	医動物学(含む実習)	
兼任	講師	クマガイ 熊谷 貴	平成27年4月	医動物学(含む実習)						
兼任	講師	オホノ 大久保 滋夫	平成28年4月	救急総論	兼任	講師	シタニ 谷 直人	平成28年4月	救急総論	平成28年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者の変更(28)
兼任	講師	ソネ 曾根 伸治	平成28年4月	救急総論						
兼任	講師	シュバ 宿谷 賢一	平成28年4月	救急総論						
兼任	講師	フィリップ コー Philip Colley	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ミシェル ボチェク Michelle Bochenek	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画			
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教
5	2	3	6	16	5	2	3	6	16	5	2	3	6
(4)	(2)	(2)	(2)	(10)						[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	●● ●●	必修	フレッシュアーズゼミ	①	本人の自己都合のため就任辞退（26）			
			必修	病理検査学実習I	①				
			必修	病理検査学実習II	①				
			必修	一般検査学実習	①				
			必修	臨床検査総合演習	①				
			必修	臨地実習	①				
2	助教	●● ●●	必修	フレッシュアーズゼミ	①	大学院博士課程進学のため就任辞退（26）			
			必修	微生物検査学実習I	①				
			必修	微生物検査学実習II	①				
			必修	臨地実習	①				
合計（A）			後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当者なし					
合計（C）			後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）					
2	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目開講期前に後任の専任教員が着任したので問題はないと考える

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時			
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<医療保健学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 科目名及び科目内容の変更 臨床化学検査学Ⅲ（含む実習）</p>	<p>① 臨床検査技師国家試験受験資格の指定科目の改正に伴い、臨床化学検査学Ⅲ（含む実習）の科目内容から実習を削除したため、科目名を臨床化学検査学Ⅲに変更。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置して 教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。 また、学長諮問委員会として、次の委員会を設置し、全学的なFD活動に取り組んでいる。 ・FD委員会 ・教育力強化委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画推進会議は、原則として月1回開催し、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長で構成している。 ・平成27年度は、8月を除き全11回開催し、平成28年度も4月に第1回を開催している。 ・FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として、平成27年度に2回開催した。 ・教育力強化委員会は、専任の全教員に実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として、平成27年度は3回開催した。 ・企画推進会議は、前期・後期で開催日を決めて開催していること、FD委員会、教育力強化委員会は構成員の予定を考慮のうえ開催日を調整していることから、ほぼ全員が出席している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告・審議する。 ・FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、大学の理念・目標の理解、授業における教授法、学習・学生支援、学習ツールの共有、教員倫理・社会的責任の認識を全学教職員会におけるテーマの方針として適切なテーマ設定について審議する。 ・教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議する。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業点検（教育力強化委員会） ・全学教職員会（FD委員会） ・新任教員研修会 ・アゴラ ・授業評価アンケート

b 実施方法

・教員相互の授業点検

専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価をし、その結果をもとに評価を受けた教員と評価をした教員が面談を実施している。

・全学教職員会

八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、全教職員が本学のおかれている状況と問題意識の共有を図り、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。

・新任教員研修会

新任教員を対象に、学長からは本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話があり、その後、事務局からは本学の行動規範、就業規則等諸規程及び各部署の役割について説明している。

・アゴラ

学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。このアゴラには、事務局は参加せず完全に教員のみによる活発な討論の場としている。

・授業評価アンケート

開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。八王子キャンパスでは、平成27年度からは全授業においてe-ラーニングプラットフォームであるMoodleを活用し、蒲田キャンパスではマークシート用紙により実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業点検

平成27年度は大学全体で82名の専任教員の授業点検を実施した。このうち臨床検査学科については、前期2名、後期2名の計4名の授業点検を実施した。

・全学教職員会

平成27年度は蒲田キャンパスで下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約90%である。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 第1回：平成27年度大学運営方針 | 第6回：情報セキュリティについて |
| 第2回：平成27年度の学部・研究科の基本方針 | 第7回：ラーニングアウトカムズの取り組みについて |
| 第3回：ラーニングアウトカムズ | 第8回：ラーニングアウトカムズの取り組みについて |
| 第4回：安全保障貿易管理について | 第9回：ラーニングアウトカムズの取り組みについて |
| 第5回：大学におけるIRIについて | 第10回：ハラスメント防止について |

・新任教員研修会

蒲田キャンパスでは、平成27年は4月1日・2日の両日で新任教員研修会を開催し、新任教員全員が出席した。4月1日は、事務局から就業上の説明、PCの取り扱い等について説明を行った。4月2日は学長から理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話を行った。平成28年度は、4月1日に八王子・蒲田両キャンパス合同で新任教員研修を実施し、例年同様に学長から、理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話があり、その後、事務局から就業上の説明、PCの取り扱い等について説明を行った。

・アゴラ

本学では、各学部・学環で原則月1回アゴラを開催している。このアゴラの開催については、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしている。前期・後期であらかじめ開催日程を定めていることから、ほぼ全教員が出席している。平成27年度医療保健学部は下記のテーマで開催した。

- 第1回：アゴラとは、新入教員紹介
- 第2回：退学・休学・留年生への対応について
- 第3回：ITで集めた情報の活用方法 について
- 第4回：入試制度について
- 第5回：学生カルテの使い方について
- 第6回：出席管理システム、学生カルテについて
- 第7回：今年度後期の議題募集
- 第8回：メンタルヘルス・メンタルケアについて
- 第9回：アクティブラーニングについて
- 第10回：フレッシュャーズゼミのあり方について
- 第11回：臨床実習について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、平成26年度までに教員一人あたり2回の点検を受けており、平成27年度からは3回目を実施している。その結果をみると、ほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きい成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。また、授業改善としては他の教員の授業をみることによる自己改善にも大きな成果があることから、新任教員については、着任年度内に3回の授業参観を義務づけ、本学の教育、本学の学生を理解したうえで授業方法の検討に資することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、全授業科目で授業評価アンケートを実施している。
八王子キャンパスでは、前期は6月下旬～7月中旬（授業回：10回～12回）、後期は11月下旬～12月中旬（授業回：10回～12回）に実施している。
蒲田キャンパスでは、前期は7月上旬～下旬（授業回：14回又は15回）、クオータ科目について、5月下旬（授業回：7回）、後期は12月中旬～1月中旬（授業回：14回又は15回）、クオータ科目については、10月下旬（授業回：7回）にそれぞれ実施している。なお、平成27年度の臨床検査学科については、前期28科目、後期31科目で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、八王子キャンパスでは各教員がmoodleを利用して結果を確認することができるが、科目ごとに結果をまとめた資料を当該教員にフィードバックしている。蒲田キャンパスでは、自由記述欄の内容が確認できるように、授業評価アンケートのマークシート用紙及び科目ごとに結果をまとめた資料を当該教員にフィードバックしている。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床検査学科では、日進月歩で進む医療を支える臨床検査の最新知識を学び、正しい診断情報を提供する臨床検査のエキスパートとなる有為な臨床検査技師を育成することを目的としている。
この目的を達成すべく1年次生は臨床検査概論の授業として地域中核の大学病院に見学を行い、臨床検査技師を目指す志の高揚を行っている。その効果もあり、開設以降、退学・休学者が0名である。
また、今年度より1期生である3年次生が臨床実習を行うので、そこで臨床検査の最新知識を習得させる予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年12月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行するとともに、本学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）で評価を受けた。

・平成33年度までに評価機関（未定）で第3回目の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 9月 30日)